

公表 保護者等からの事業所評価の集計結果								
事業所名		こはんはうすさくら名取教室						
		公表日 2026年 1月 20日						
利用児童数 4人 回収数 4人								
		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・体制整備	1	子どもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	4					
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	2	2				職員配置は1~2対1で対応出来るよう配置しております。ご安心下さい。個別対応が必要な場合も、マンツーマン対応させて頂いております。
	3	生活空間は、子どもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	4					
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	4					
適切な支援の提供	5	子どものことを十分に理解し、子どもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	4					
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	4					
	7	子どものことを十分理解し、子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	4					
	8	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	4					
	9	放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	4					
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	4					
	11	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他の子どもと活動する機会がありますか。	3	1				・公園遊びなどで地域のお子さま達と一緒に活動する機会を設けております。利用日によって参加出来ていないお子さまもいらっしゃいます。
保護者への説明等	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	4					
	13	「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	4					
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	4					
	15	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状況について共通理解ができると思っていますか。	4					
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	4					
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	4					
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	3	1				・ハッピーファミリールームで交流していただいたり、勉強会などする場を設定しております。運動会や遠足でご兄弟も一緒に参加して頂いております。是非今後もご参加下さい。

	19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	4					
	20	こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	4					
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	4					
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	4					
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	3	1				・契約時や面談の際に全世帯へ説明させて頂いております。訓練は月1回実施しております。お便り、インスタグラムなどでも情報共有させて頂いておりますのでご確認下さい。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	4					
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	4					
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	3	1				・些細なことでも毎回保護者様へお伝えしております。ささくれなどは爪切りは医療行為になるため出来ないので絆創膏を貼って帰りにお伝えしております。他何かあった際には送迎時にご説明しておりますので、ご不明点がありましたらお申し出ください。
満足度	27	こどもは安心感をもって通所していますか。	4					
	28	こどもは通所を楽しみにしていますか。	4					
	29	事業所の支援に満足していますか。	4					

## 公表

## 事業所における自己評価結果

事業所名		事業所における自己評価結果				公表日 2026年1月20日
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	9		物を床に置かず、イスなど置く際はマットなどで囲い危険のないように気をつけている。	
	2	利用定員や子どもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	9		毎日5~8名職員がいるようにしてあり、マンツーマン対応出来るようにしている。午前中は小さなお子様も利用しているので、職員数を増やしている。	
	3	生活空間は、子どもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	9		全てに目で分かるよう絵カードなどで可視化し、分かりやすいように工夫している。室内をゲートなどで仕切り、遊ぶスペースを分けている。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか。	9		午前、午後と掃除機、消毒、換気など日々行っています。	
	5	必要に応じて、子どもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	9		児発、放ディ、ホールなど用途によって使い分けています。クールダウン出来るように職員が1対1で個別対応も行っています。	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	9		入社時の研修や、年1回の会議などで職員全員で共有し、職員一人一人が考え取り組んでいます。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	9		職員会議や日報などで共有し、全員が周知し今後の改善も検討しています。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	9		月1回職員会議をし、職員からの声を反映出来るようにしています。オープンなコミュニケーションが取れるよう環境づくりしています。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	9		こばんはうすさくら本部とも共有し、業務改善につなげています。	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	9		本部開催の研修や、地域開催の研修に積極的に参加し、職員のスキルアップを図っている。	
適切な支援の提	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	9		年に一度プログラムを公表して、HPに掲載しております。	
	12	個々の子どもに対してアセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	9		面談前に事前アンケートを取り、ご希望に沿った支援計画を作成し、同意を頂いています。	
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、子どもの支援に関わる職員が共通理解の下で、子どもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	9		職員間でアセスメントを行い、次期の目標も全員が関わって意見を出してもらい、計画に反映しています。	
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	9		全員が周知し、毎日の朝礼終礼で目標の振り返りを行っています。	
	15	子どもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	9		日々お子さまのモニタリングを行い、職員間で共有しながら記録をし、振り返りが出来るようにしています。	
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、子どもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	9		ガイドラインに沿った支援内容を反映し、設定しています。	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	9		毎月プログラムを全員関わって作成し、実施しています。	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	9		毎日違うプログラムにし、固定化しないよう配慮しています。	

供 應	19	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	9		集団療育をメインにプログラムで実施し、心理士などが個別計画に沿った活動を日々記録し支援しています。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	9		朝礼で毎日申送りをし、確認をしています。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	9		終礼で毎日申送りをし、振り返りをしています。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	9		個人の記録表に個別目標など記録を取り振り返りが出来るように記載しています。	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	9		児発管も支援に入り、職員と共有しながら振り返り、今後について日々話し合いをしています。	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせて支援を行っているか。	9		「日常生活支援」「創作活動」「地域交流」「余暇の提供」をプログラムや個別で取り組んで支援しています。	
	25	子どもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	9		選択式にし、自分で選ぶことを日々の活動の中に入れ取り組んでいます。	
	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、その子どもの状況をよく理解した者が参画しているか。	9		管理者・児発管が参画しています。	
関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	9		学校担任と年に1～2回共通理解するための会議を行っています。状況に応じて保健センターとも連携しています。	
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	9		保護者を通して行い、直接学校担任とも確認し適切に行っています。	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	9		情報共有を行っています。	
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	9		現在対象者がいませんが、いる場合は行います。	
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパー・バイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	9		児童発達支援センター主催の研修を受けています。	
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他の子どもと活動する機会があるか。	9		地域のお子さん達と公園などで一緒に活動する機会を設けています。	
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	9		参加しています。	
	34	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	9		送迎や連絡帳などで日々保護者様とコミュニケーションを取り情報共有しています。	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	9		希望があればペアトレを取り入れています。ハッピーファミリールームを企画し、保護者様同士のコミュニケーションを取れる場を設けています。	
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	9		契約の際にお渡ししながら口頭でも説明させていただき、ご質問などないか確認しております。	
保 護 者 へ の	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、子どもや保護者の意思の尊重、子どもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、子どもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	9		計画作成前にアンケートの記載をお願いし、職員間でも共有しながら次期の個別計画を作成し、ご家族やご本人の意向を確認しています。	
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	9		面談時に計画を見て頂きながら、振り返り、次期目標についてお伝えし、同意を頂いています。	
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	9		半年ごとの面談の他、日常的にお声かけし相談や面談をし、助言と支援を行っています。	
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	9		不定期で【ハッピーファミリールーム】を開催し、保護者様同士が集まる場を設定し、障害についてや将来についてお伝えしたり、保護者様からの質問や交流できる場を設けています。イベントなどの際はきょうだいも参加してもらい、一緒に交流してもらっています。	

説明等	41 こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	9		電話やお手紙などで相談を受け、迅速に対応しています。必要であれば、保健センターなどとも共有し適切に対応しています。	
	42 定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	9		毎月【こばん通信】を作成し月初めに全員に配布し、活動内容をお知らせしています。週に1度SNSで活動の様子を写真を添えて情報発信しています。	
	43 個人情報の取扱いに十分留意しているか。	9		書類関係は鍵付きの書庫で保管し、室内についても保護者様の同意を頂き、十分に留意しています。	
	44 障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	9		配慮しています。	
	45 事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	9		個人情報や、通所を知られたくない方もいらっしゃるため、地域の方を室内へ入ってもらう活動は行っておりません。今後検討致します。	
非常時等の対応	46 事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	9		保護者様へは契約の際に見せしご説明しております。相談室へも置いて閲覧出来るようにしております。職員へも周知し、研修、会議など定期的に行ってています。	
	47 業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	9		定期的に訓練、会議など行っています。	
	48 事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	9		てんかん発作の研修も受け、全員で対応出来るよう周知し、シミュレーションを行っています。	
	49 食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	9		・現在対象者いないため行っておりません。 対象者がいる場合は対応致します。 ・現在アレルギーのお子さまは居ないが、いる場合は対応可能な状況です。	
	50 安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	9		安全計画を作成し、研修、訓練を定期的に実施し、研修記録も残しています。	
	51 こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	9		契約時に避難場所などについて説明を行い、地震などの際はLINEなどの情報ツールを使用し、避難場所の周知を行っています。	
	52 ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	9		ヒヤリハットを率先して書くよう職員へ伝え、再発防止に向けた検討を行っています。月1回実施している職員会議でも振り返りしています。	
	53 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	9		こばん本部の研修を全員実施し、その他地域で開催される研修へ参加し、全員が正しい知識を身に付け、適切な対応が出来るようにしています。	
	54 どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	9		保護者様へは契約時に重要事項説明書を読み上げながらご説明し、了承いただいております。	